

## メタジェニックス株式会社主催

# GI Health セミナー 2022 開催報告

取材 編集部



開会のあいさつをする沢田徹メタジェニックス社代表取締役社長

略という意味で、1つ目は有害なものやアレルゲンとなる食物の摂取を控え、細菌、真菌、ウイルスの侵入も排除します。2つ目はReplaceで「代替・補充」です。さまざま要因で分泌や働きが低下した



メタジェニックス社製品開発本部の藤井祐介取締役

2022年10月10日（月曜日・スポーツの日）に、メタジェニックス株式会社主催の「GI Health セミナー2022」が東京・麻布台の東京アメリカンクラブ・マンハッタンルームで開催されました。このセミナーは医師、歯科医師、医療従事者向けのセミナーで、より効果のある栄養療法を学びたい熱意溢れる医師、歯科医師たち100名余りが集まりました。主催者のメタジェニックス社は、30年以上にわたりファンクションナル・ニュートリション（機能的な栄養作用）領域のリーディングカンパニーとして、一貫して科学的な探求と品質の追求を行っています。そして、医療従事者と患者さんの信頼関係を特に重視しており、開発されたサプリメントが医師、歯科医師をはじめとする専門家の指導のもとに適切に使用されることで、初めて有効な治療法

になるとの考えで活動されています。セミナーは、沢田徹メタジェニックス社代表取締役社長の開会の辞により始まりました。続いて第1部として、メタジェニックス社製品開発本部の藤井祐介取締役より講演がありました。藤井取締役は、「ストレスと消化管機能性医学の観点から」と題して、分子整合栄養医学と機能性医学について、脳からのストレスが腸に与える影響やその逆である腸が与える脳への影響などについて話されました。その中で、機能性医学に基づいた根本原因へのアプローチとして、「5Rストラテジー」を提唱されました。ストラテジーとは戦

**「5Rストラテジー」は病気の根本治療に欠かすことのできない考え方**

略という意味で、1つ目は有害なものやアレルゲンとなる食物の摂取を控え、細菌、真菌、ウイルスの侵入も排除します。2つ目はReplaceで「代替・補充」です。さまざま要因で分泌や働きが低下した



セミナーは東京・麻布台の東京アメリカンクラブで行われた



臨床分子栄養医学研究会の宮澤賢史代表

睡眠、運動、ストレス管理とともに、適切な栄養サポートで、健康を維持します。この5つはすべて「R」から始まっていることから「5Rストラテジー」で、病気の根本治療には欠かすことのできない重要なことだと話されています。

**7つのコツの1番目は「根本原因にアプローチすること」**

第2部は宮澤医院副院長・臨床分子栄養医学研究会代表の宮澤賢史先生より、「栄養療法に取り入れられる7つのコツ」と題した講演がありました。講演では栄養療法を取り入れる目的として、①患者さんとの信頼をより深める、②保険診療でカバーできない患者さんの悩みを解決する、③決まった期間内で圧倒的な結果を出すことを挙げられました。

最後に登壇されたのは、みぞぐちクリニック院長・オソモレキユラー栄養医学研究所代表理事の溝口徹先生でした。溝口代表理事は、我が国で診療に分子栄養学的アプローチを取り入れたパイオニアであり、国際オソモレキユラー医学会の「名誉の殿堂入り」もされています。

テーマは「ストレス・不安と栄養／消化管インテグリティの重要性を考える」でした。講演の中で溝口代表理事

**分子栄養学的に根本原因を突き止めてそれを改善する治療が必要である**

そして7つのコツとして、①根本原因にアプローチすること、②患者さんが理解できる簡単なモデルをつくる、③何を治療して何を治療しないかを決める、④腸内環境を検査する、⑤まずは気分、体調を良くしてもらう、⑥腸の修復時には必ず副腎をフォローする、⑦簡単な症例を繰り返して慣れる、これらを具体例を示されながら話され、一般の病院で治らない病気も、分子栄養学でアプローチすれば治るのではと納得できる内容でした。



溝口徹オソモレキユラー栄養医学研究所代表理事

は、あるテレビ番組で同じ症状を訴えて精神科を5施設受診したところ、それぞれ診断された病名が異なり処方された薬剤が異なっていたことを例に挙げられ、問題提起されました。

そこで、分子栄養学的に根本原因を突き止めて、それを改善する治療が必要であると話されました。そして、不安のコントロールには脳内のGABAを増やし、セロトニンを維持することが必要で、さらに腸漏れ症候群ともいわれるリーキーガット症候群のコントロールも重要とのことでした。

具体的な臨床例も示され、不安障害の患者さんなどを分子栄養学のアプローチにより、サプリメントなども使用しながら改善に導いていったことを説明されました。

**サプリメントなども活用しながら治療することは今後の医療で欠かせない**



栄養アプローチを学ぼうとの熱気溢れる会場

3名の講師の講演内容はどれも興味深く、栄養がとても大切であることがよくわかりました。このような分子栄養学的なアプローチでサプリメントなども活用しながら治療することは、今後の医療で欠かせない重要なことだと思います。

来場された医師の方々に敬意を表すとともに、もっと多くの医師に学んでいただき、広く患者さんに喜ばれる医療を実践して欲しいと思いました。